

1. 評価報告概要表

作成日 平成20年 5月27日

【評価実施概要】

事業所番号	1174200707
法人名	有限会社おのざわ
事業所名	グループホームさくらプラザ
所在地	〒367-0247 埼玉県児玉郡神川町大字元阿保639-1 (電話) 0495-74-2330

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年5月26日

【情報提供票より】(平成20年1月8日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年7月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 13人, 非常勤 2人, 常勤換算 8.4人	

(2) 建物概要

建物構造	木造瓦葺造り		
	2 階建ての	1 階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,480円・41,040円	その他の経費(月額)	16,240円 + 実費
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり950円			

(4) 利用者の概要(1月8日現在)

利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護1	1 名	要介護2	10 名
要介護3	6 名	要介護4	1 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84.6 歳	最低 71 歳	最高 100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	青木病院、さかもとクリニック、中島歯科医院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、緑豊かな田園地帯に建つ木造平屋の日本家屋で周囲と調和している。天井が高く居心地の良い居間では、いつも利用者が集い、居間から庭に続くウッドデッキは常に開放され、野菜や花の手入れなど自然に親しめる環境が用意されている。2つのユニットが廊下でつながり、それぞれの利用者とは担当職員が明るい家庭生活を協力しながら営んでいる。食事は利用者の好みと旬の食材で毎日共に献立を作り、各々の役割を分担し、自然な家庭の雰囲気が作り上げられている。利用者はそれぞれ得意とする役割を發揮し意欲を持てるように支援され、職員もそれぞれの得意分野を業務に活かすように取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 研修の組織体系作りへの取り組みには至っていないが、外部研修は地域包括支援センターの協力により参加できている。感染症防止マニュアル作成や地域のボランティアの受け入れなど地域との交流は始められている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 全職員による取り組みについての話し合いはまだ十分でないが、管理者は自己評価、外部評価による改善点を理解し計画的に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は、2か月毎の定期的な開催を計画している。会議には、ホーム関係者以外に行政、地域、家族のそれぞれの代表の参加があり、業務報告やサービス向上への提案を話し合っている。具体的に、地域行事やボランティア活動への参加の提案を受け、ホームと地域が交流する機会を設けている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 面会時やケアプラン作成時の面談で家族から苦情や相談、意見を聞き取り、そのつど解決するよう努め、改善に向けて取り組んでいる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 運営推進会議において地区組長からの提案があり、地域の美化運動を地域の人々と共に行っている。また、小学校の体験学習の受け入れや隣接する障害者福祉施設利用者との自然な交流もしている。

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念として「地域の中の一員として共に生活し安心して暮らせる環境作り」を定め、その実現を目指している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を玄関等に掲げ、定例職員会議等では職員に周知し、実践に向けて取り組みをしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	隣接する障害者福祉施設利用者と自然な交流がある。地区の一員として、公園の美化運動など地域活動へ参加するとともに、ホームは小学校の体験学習の場として受け入れており、地域との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価による改善に取り組み、感染症マニュアルの作成やボランティア交流などに取り組んでいる。また、提案があったカレンダー作りは利用者とともに作品として作り居間の壁に掲げている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に2か月ごとの開催を計画しており、ホーム関係者以外に行政、地域、家族のそれぞれの代表の参加がある。会議では、業務報告やサービス向上への提案を話し合い、地区の組長からの提案で地域住民との自然な交流が始まっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町の地域包括支援センターが主催するケアマネジャー会議において、行政、ケアマネジャー、サービス事業者が交流し意見交換をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月の請求書送付時にお便りや行事の際撮った写真を同封しているが、緊急時にはそのつど電話等で連絡し相談している。また、金銭預かりはしていないため、理美容費等は毎月の請求時に別途請求している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ケアプラン作成時の面談や、面会時に、家族から意見を聞き取り改善に取り組んでいる。また、苦情等は管理者が窓口となって解決に向けて取り組んでいる。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の大半が常勤であり、ホーム開設から長く勤務している職員が多い。配置換えは極力行わないように配慮されている。また、利用者ごとの担当については、休日や離職時のダメージを考慮し、ユニットごとの職員がグループとして利用者一人ひとりのケアを共に行っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	町のケアマネ会議を通じて外部研修に参加し、申し送りや職員会議等で報告している。新人研修は管理者が研修マニュアルに沿って利用者ごとのケアについてOJT教育を行っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町のケアマネジャー連絡会議にて、地域のサービス事業者と交流している。しかし、グループホームの同業者との交流はまだ行っていない。		同じ町にある7か所のグループホームと交流を行い、相互訪問や勉強会等でお互いの特徴を理解し、自らのサービスの質の向上につなげることも大切な取り組みとして実践することを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人や家族の状況に合わせて、見学や一日体験を行ってもらい納得した上で入居してもらうことが可能である。状況に応じ家族の泊まりもできるようにしているが、まだ利用した事例はない。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者と職員は、家族のように自然にお互いの役割を担って暮らしている。献立表を作る方、調理を工夫する方、絵が上手な方など、利用者も職員もそれぞれの能力を発揮しお互いに支えあっている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者一人ひとりの思いや意向を大切にしている。たとえば、帰宅願望の強い利用者へのケアとして、なぜその行動が起きるかを観察の中で理解、共有し、その人に合わせたケア方針で関わることで安心して過ごせるよう支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族の思いや意向を職員が共有し、申し送りやカンファレンス等で話し合い介護計画に反映している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>新規利用者については、本人と家族の意向を踏まえて1か月以内に作成し、入居後のケアの中で3か月ごとの定期的な見直しを行っている。また、変化が生じたときは、そのつどアセスメントし新たな計画を作成している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の入院中の面会や、衣類洗濯等を家族に代わってホーム職員が代行するなど、状況に合わせてきめ細やかな対応を心がけている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にホームの協力医療機関の説明を行い、納得した上で協力医をかかりつけ医とする場合もある。また、専門的な治療が必要な利用者には、ホーム職員が付き添って受診し、治療状況などは家族へ報告している。協力医は2週ごとにホームで診察を行うが、ホームからは前日に一人ひとりの状態について情報提供をしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在重度化や終末期ケアの経験がないため、ホームの方針としてまだ話し合っていない。ホームでのケアの可能性については、協力医とそのつど相談をしている。		家族、医療機関、職員等との話し合いを続け、職員の成長を促すとともに、家族のターミナルに対する思いを一緒に学んでいき、事業所の方針を統一し共有していくことが望まれる。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	情報の取り扱い、記録類の管理に注意している。また、利用者に対して羞恥させないように、言葉かけ等に配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日中はほとんどの利用者が居間に集い、趣味を楽しんだり思い思いの時間を過ごし、それぞれの生活上の役割を担っている。日用品の買い物と一緒に行く方や庭で野菜作りに励む方など、一人ひとりその人らしい暮らしを送れるよう支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の3度の献立は利用者とともに考え、調理や配・下膳など出来る事を行っている。職員は、利用者と同じテーブルを囲み、介助しながらゆったりと和やかな雰囲気作りで気を配りつつ一緒に食べている。また、利用者の誕生日にケーキを作ったり、行事の時には特別手を加えた食事を提供している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの利用者に職員が介助、または見守って入浴している。また、ゆったりと入浴を楽しんでいただくよう配慮している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホームの理念として「地域の中の一員」として生きがいをもって暮らしていけるよう、ケアプランに生活歴や力を活かした役割を見出す目標設定をしている。自ら毎日の献立記録作成の役割を申し出て実行している利用者もいる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	いつでもホームの居間からウッドデッキを通過して庭へ出られるようになっている。職員の買い物に誘ったり、近隣の公園での美化運動への参加や散歩など、戸外へ出かけることを心がけている。また、季節ごとに花見などの外出も計画し実行している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	外部からの侵入防止や、交通量の多い道路が近いため事故防止目的で、玄関には鍵をかけている。目が届きやすい居間から庭へのドアには鍵をかけず、自由に戸外へ出られるよう開放感に配慮しているが、鍵をかけないケアについて職員間での話し合いはまだされていない。		鍵をかけない処遇を基本として、内鍵をつける、チャイムを設置する、勤務体制、時間帯の検討等、ホームでの実現の可能性について職員間で話し合いを持ち、鍵をかけないケアの実践へ向けた意識づくりが望まれる。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	日中想定避難訓練は消防署の協力で実施しているが、夜間訓練ができていない。また、近隣の協力を得られるように挨拶はしている。		昼夜問わず災害時の避難には近隣の協力が重要であるため、運営推進会議等で話し合い、地域の協力を築くために具体的な支援体制の整備に取り組むことを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの好みや体調に合わせて食事や水分摂取に気をつけている。毎回の摂取記録もつけており、協力医の往診時に提示している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	木造和風の建物で落ちついた温かみのある雰囲気を作り上げている。居間の天井が吹き抜けになっており、天窓の明り取りが開放感を与えている。居間から庭へ続く広いウッドデッキでは、季節の花を植えたプランターや椅子を置いてお茶をするなど、アウトドア気分も楽しんでいる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に本人、家族が相談して使い慣れた馴染みの家具などを持参し配置している。家族の写真や手作りの作品を飾るなど思い思いの飾りつけをしている。		